

主役にならない私たち

放送部 部長

私が所属している放送部は、年間を通じて様々な学校行事に携わります。例えば6月の桜華祭において、有志団体がメディアプラザでパフォーマンスを行いますが、音響や照明の調整は、本館2階にある副調整室で放送部員が行っています。また、体育祭で競技の実況をしたり、夏には硬式野球の試合を撮影・記録したりと活動の場や内容は様々です。このような学校行事に関わる私たちの活動は総じて裏方になりますが、私はそんな放送部の活動にやりがいや誇りを感じています。放送部に入部したばかりの頃は、チアリーディング部のように皆の前で踊って場を華やかに彩ったり、運動部のように壮行会で全校生徒に応援されたりする生徒のことを羨ましく思うこともありました。しかし、様々な学校行事で活動する中で、表に出て活躍する生徒達を支えている実感を得るとともに、放送部の活動の重要性とやりがいに気が付きました。また、各行事を担当している先生や実行委員の生徒と打ち合わせをしたり、行事をよりよいものにするために放送部としてできる準備をしたりする中で、学校行事には思っていたよりもずっと多くの人力が関わっていることや行事を成功させるためには事前の準備が何よりも大切であるということを学びました。私は、これまでの活動の中で得た気づきや学びを活かして、今後の放送部の活動を更に発展的なものにして行きたいと考えています。

最後に、私が放送部の部長として活動ができてるのは、放送機材の扱い方や放送部員としての心構えを教えてくれた先輩方がいたからです。私も先輩方のように、私が活動の中で得た気づきや学びを後輩達に伝えていきたいと思っています。そして、放送部全体として活動の質を高めつつ、活動の幅も広げていきたいと考えています。